

第 26 回日本皮膚外科学会 総会・学術集会

プログラム・抄録集

会期：平成 23 年 8 月 20 日（土）・21 日（日）

会頭：八田尚人（富山県立中央病院 皮膚科）

会場：富山国際会議場

（大手町フォーラム）

〒930-0084 富山市大手町 1 番 2 号

Tel 076-424-5931 Fax 076-493-4455

第 26 回事務局：富山県立中央病院

皮膚科（八田尚人）

〒930-8550 富山市西長江 2-2-78

Tel 076-424-1531 Fax 076-422-0667

E-mail: hattanao@tch.pref.toyama.jp

第 26 回日本皮膚外科学会総会・学術集会

ご 挨 拶

この度第 26 回日本皮膚外科学会を富山市で開催することになりました。会員の皆さんの中には富山を訪れたことのない方も多いと思いますので、これを機会に是非一度お越し下さい。富山市は最近エコシティとして売り出し中です。富山駅や会場周辺には適当なホテルが多数有りコンパクトにまとまっています。市内はセントラムと呼ばれる路面電車で移動できますし、市内で自由に乗り捨てできる自転車（登録が必要ですが）も整備されています。それに便乗して学会のテーマを「エコ」としました。時間や、患者さんの負担、あるいは材料費などを節約することがエコノミーからエコロジーにつながるのではないかというこじつけです。皆さんのささやかな工夫をお待ちしています。

本学会は当初からスーパークールビズで時代をリードしてきました。富山は北というイメージから涼しいのではないかと誤解されることがありますが、真夏はおそらく日本で最も暑い地域の一つです。例年通り軽装でお越し下さい。折角富山まで来るのですから時間に余裕のある方は立山・黒部アルペンルートに足を伸ばされることをお勧めします。室堂までは電車やバスを利用し軽装で訪れることができます。気合いを入れて 3015 m の頂上を目指すのもよいかもしれません（日帰りで可能ですがそれなりの装備が要ります）。

学会運営はこの会の特徴である全員参加の 1 会場で徹底的に討論するというスタイルを最優先に考えています。そのため発表者の方は発表時間を厳守するようにお願いします。緊張して時間をオーバーする程度はいいのですが、中には「これは 4 分では収まらないだろう」という確信犯（？）も見受けられます。内容はコンパクトにまとめて円滑な運営にご協力をお願いします。そのかわり討論はできるだけ制限しないようにするつもりですので、発言希望者は指名前にマイクの前でお待ち下さい。1 日目の昼食時間に岡田整形外科皮膚科の高田実先生に「メラノーマは手術で治せるか？」と題して講演をお願いしました。本学会とは逆説的な演題ですが、手術手技を極めるだけでなく多角的にメラノーマの治療を考えるうえでのよい刺激になると期待しています。また、時間的制約から「あなたならどうする？」のコーナーの代わりに 3 人のエキスパートにミニレクチャー的な話をしてもらい「私ならこうする」のセッションを企画しました。「よくあるけどちょっと悩むような症例をあの先生はどのようにしているのか知りたい」、というのが企画の主旨です。

本学会ではネームホルダーを再利用するなどささやかなエコを実践する予定です。学会費もエコにしようかと思いましたがこのご時世企業協賛も厳しいのでやめました。懇親会がエコになっても会場周囲には富山の海の幸山の幸を楽しめる店が沢山ありますのでご安心を。

平成 23 年 7 月吉日

富山県立中央病院 皮膚科
会頭 八田 尚人

交通案内



富山国際会議場 大手町フォーラム

〒930-0084 富山市大手町1番2号 TEL: 076-424-5931 FAX: 076-493-7170

富山国際会議場へのアクセス

〔富山駅より〕

- ・バスで約5分～城址公園前下車 徒歩3分
(料金:200円)
- ・市内電車(環状線)で約8分～国際会議場前下車
(料金:200円)
- ・徒歩で15分

〔富山空港より〕

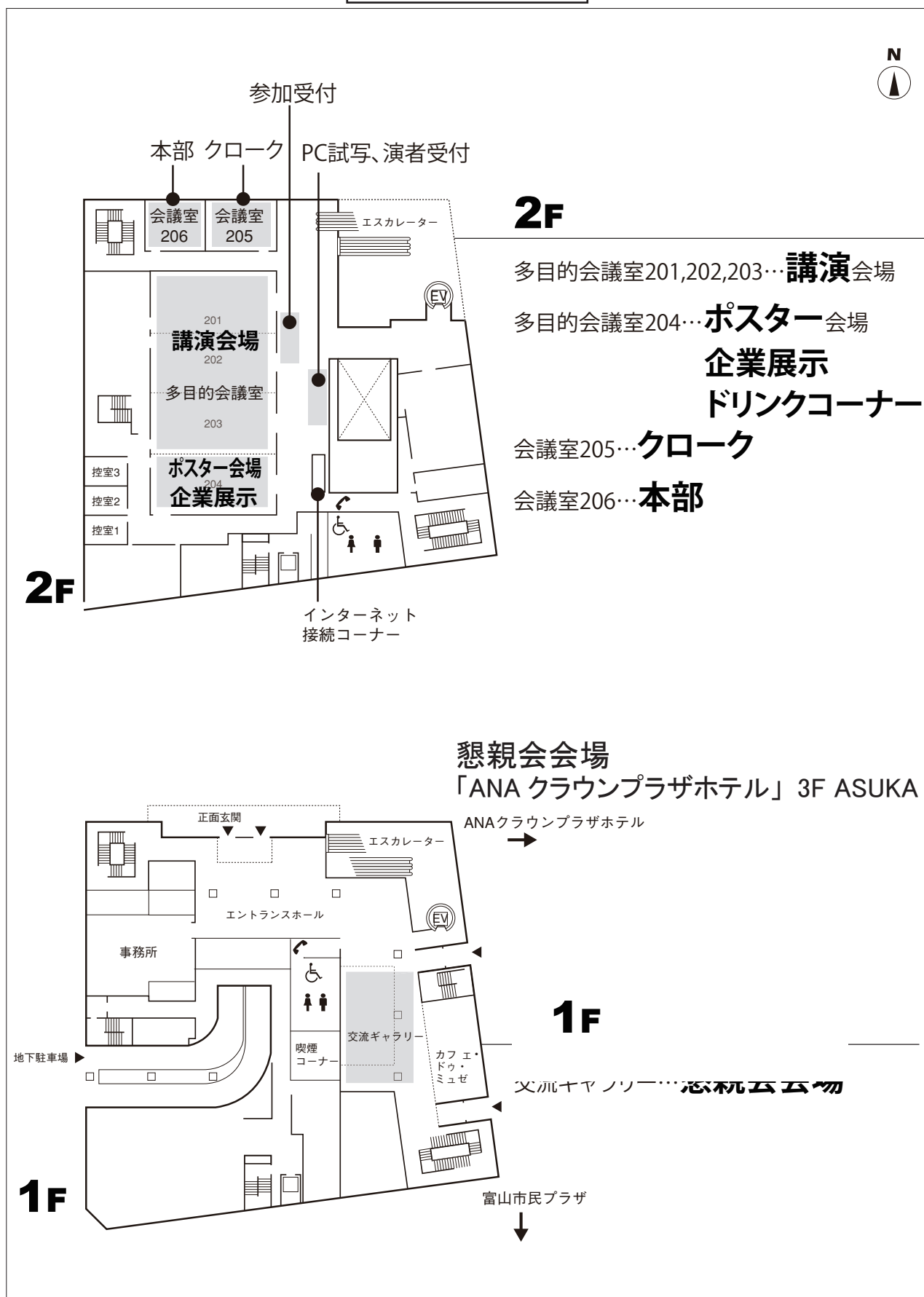
- ・タクシーで約20分 (料金:約3,000円)
- ・空港連絡バスで約25分～総曲輪下車 徒歩2分
(料金:400円)

〔富山I.C.より〕

- ・車で15分

※市内電車環状線(セントラム)は太線部分が一方通行となります

会場案内



参加者の方々へのお知らせとお願い

参加者の方々へ

1. 受付時間：23 年 8 月 20 日（土）午前 8 時から午後 6 時まで、21 日（日）は午前 8 時から午前 11 時 30 分まで受付致します。
2. 参加受付：2F の総合受付でお願いいたします。参加登録カードを記載のうえ受付までお持ちになり、参加費 10000 円をお支払い下さい。県の補助金申請のため県外からの参加者の宿泊数を把握する必要がありますので、お手数ですがカードに宿泊のホテルを御記入下さい。ネームプレートのホルダーは再利用品を用意してありますが、エコのため他の学会で使用済みのホルダーがあればお持ち頂くようお願いいたします。口演およびポスター発表される先生方は、隣の演者受付へもお越し下さい。
3. プログラム：郵送された方は必ずご持参ください。会場で購入される場合には一部 2000 円頂戴致します。
4. 受講証：皮膚科専門医資格をお持ちの方には、日本皮膚科学会認定の後実績 6 単位が認められますので、専門医受付でご記帳後に「後実績受講証」をお受け取りください。

口演発表者の方々へ

＊ 前回の案内では、発表データの CDR を 1 週間前に郵送していただく予定でしたが、当日会場に USB メモリーをお持ち込みをいただくことになりましたので、ご注意ください。

1. 学会参加受付後、演者受付へお越し下さい。
2. 口演時間：一般演題、テーマ演題は口演 4 分、討論 4 分です（私ならこうするは 7 分）。
3. 口演発表は全て PC（パソコン）による発表のみとさせていただきます。発表の 30 分前までに「PC 試写・演者受付」までお持ち下さい。お持ち込みいただけるメディアは USB メモリーのみとさせていただきます。データはコンピュータウイルスの無いことをチェックをした上でお持ち込み下さい。必ずバックアップ用のデータもお持ち下さい。
4. 会場に用意するパソコンで、使用可能なアプリケーションは PowerPoint 2003, 2007 です。PowerPoint の標準フォントをご使用下さい。口演用スライドデータは 4:3 で作成して下さい（横長で作らないで下さい）。
5. Macintosh 版の PowerPoint で作成された方は、あらかじめ Windows パソコンでの動作確認をお願いします。
6. 口演用データでは、動画・音声の使用はご遠慮下さい。
7. 発表の際は、演台に設置してありますモニター、マウス、キーボードを使用して、演者ご本人により操作して頂きます。
8. ノートパソコンの持ち込みによる発表は受け付けません。

ポスター展示の方々へ

1. 学会参加受付後、演者受付へおこし下さい。
2. 展示は、ポスター会場の展示パネルにお願いします。展示は 20 日（土）午前 8 時よりお願いします。撤去は 21 日（日）午後 12 時から 1 時の間にお願いします。
3. ポスターの展示は画鋏による固定です。画鋏は事務局で用意致します。
4. ポスターパネルのサイズは横 120 cm×縦 210cm です。左上部 横 20 cm × 縦 20 cm の演題番号は事務局で用意いたしますので、それ以外のスペースはご自由にお使いください。

日本皮膚外科学会元気賞

一般演題、テーマ演題の中から最優秀発表賞および最優秀論文賞を選びます。副賞は各 10 万円で、ダブル受賞も可能です。ただし、論文（発表プロシーディング）を学会開催日から 11 月末までに、会場または本部事務局にお届け頂けなかった場合は、受賞資格を失います。受賞者は翌年度の総会で表彰し口演をして頂きます。

学会誌用原稿提出のお願い

本学会の発表演題は、原則として全て日本皮膚外科学会誌にその要旨を掲載させていただきます。お手数ですが、学会当日に別紙の要項にしたがって原稿の提出をお願いします。なお、後日学会本部事務局で原稿内容を一部変更させていただく場合がありますので、プリント原稿一部と CD-R（電子データ）の両方の形での提出をお願いします。強調文字（太字、ボールド体）の設定は行わないでください。

討論者の方々へ

座長の指示にしたがって、討論用マイクを用いて所属・氏名を述べてから発言してください。質疑応答用紙に、その内容をご記載下さい。

日本皮膚外科学会への入会申込みについて

日本皮膚外科学会への入会申込み手続きは、本学会場では取り扱いませんのでご了承ください。入会希望の方は学会本部事務局まで直接ご連絡ください。

懇親会

懇親会は 20 日（土）学術集会終了後、午後 6 時 30 分より ANA クラウンプラザホテル 3F ASUKA にて行います。

総 会 20 日（土）午後 1 時 30 分より口演会場にて行います。

日本皮膚外科学会誌投稿用原稿作成の要領

学会発表前のスライド受付時に印刷されたものとデータ（様式は後述）の両方をご提出ください（もちろん発表用スライドも！）。カラー印刷になりますので、すべてのページをカラープリント専用紙（写真が含まれる場合は光沢紙）での提出をお願いいたします。図表を貼り付ける場合は、必ず直接貼付して下さい。図、表もカラー印刷できます。

1. 原稿は原則見開きの2ページ（3ページ以上も可能）とし、奇数ページ（左ページ）に文字を印字し、偶数ページ（右ページ）に写真、図、表になりますが、奇数ページに図表の挿入も可能です。

なお、学会当日での討論を可能な範囲で追加させて頂くことになりますので、参考文献の後、または最終ページに横8×縦4cm程度の空欄を開けてください。

2. 写真は個人を特定できないように眼などにマスクをお願いします。マスクがなく個人の同定が可能と思われる写真に対しては、編集委員が写真に手を加える場合がありますのでご了承下さい。特別講演は4ページ程度で企画は自由とします。なお写真は必ずカラーをお願いします。

いずれの場合も、レイアウトは編集委員が変更する場合がありますのでご了承下さい。

3. 下図のごとく、上下（約2.5cm）・左右（約2cm）のマージンを設定し、その中におさめて下さい。演題名と演者、演者所属は概ね縦3cmの中に入れ**演題名はゴシック体で、他は明朝体をお願いします**。特に本文は必ず明朝体で印字して下さい（ゴシック体での本文は再提出していただくことになります）。**強調文字（太字またはボールド体）の設定は行わないで下さい**。

4. **演題名は13ポイント（ゴシック体）、演者所属、演者は10～11ポイント（明朝体）でワープロ印字（すべてにおいて強調文字：太字またはボールド体の設定は絶対に行わない事）し、センタリングして下さい**。字間、行間は適当で結構です。**本文は9ポイント（明朝体）**とし、概ね1行24字、本文42行の2段組で印字して下さい。

段間は約1cmにして下さい。句読点は「、」または「，」と「。」を用いて下さい。

5. 文献は本文に出てきた順に1)、2)、3)、4-7) の形で番号を打ち、記載は以下の通りとします。

①雑誌：番号・筆頭著者（ほか）、雑誌名、巻：最初のページ、発行年

（例）1. 本間 其：臨皮，48（5増）：12，1994

②単行本：番号・筆頭著者：書名、版、巻、題名、最初のページ、書店名、発行年

（例）2. 中川浩一：皮膚科診断治療体系，初版，Suppl.1，亜急性皮膚エリテマトーデス，p74，講談社，1990

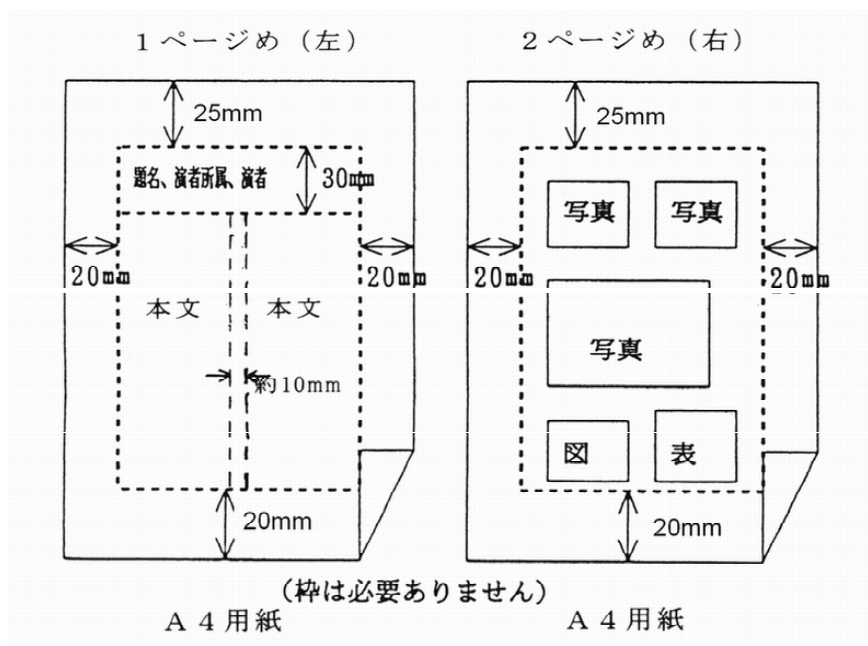
なお、雑誌名の略称については日皮会誌を参考にして下さい。

6. **別刷の受付は致しません**ので、ご了承下さい。

7. 原稿募集は、**原則学術集会2日目までに学会受付の「学会誌受付」**にご提出下さい。

お送りの際は発表の「第〇回学会、プログラム番号〇番、演題名、口演者名、所属、連絡先（ファクシミリ番号）、メールアドレス」を記入した紙を同封して下さい。

学術集会以降の原稿送付先：〒663-8137 兵庫県西宮市池開町3-10
ワードミキ株式会社内 日本皮膚外科学会事務局宛



※従来からの原稿様式です。基本的にはこの形で、若干変更して頂いても結構です。
上記に従って印刷された原稿と一緒に、CDRまたはMOまたはフロッピーディスクでデータを提出していただきます。

日本皮膚外科学会誌投稿用データ作成の要領

第18回学会より学会当日にプロシーディングの原稿とデータを提出して頂くことになりました。事務局で可能な限り学会当日の討議を入れさせて頂くことになりますので、原稿の他に、CDRかMOかフロッピーによる原稿データの提出をお願いいたします。

原則として提出していただいた原稿とMOなどは返却いたしません。

データは、投稿印刷用に作成したデータをそのままコピーして下さい。画像データが印刷用のデータに含まれない形式では、画像データを入れ忘れないように注意してください。提出するデータディスクは、作成したパソコンとは別のパソコンで正しく表示されることを確認して下さい。万一印刷原稿とデータ内容が異なる場合はどちらが使われるかわかりませんので、必ず同一のものにして下さい。発表用スライドのために作成したMSパワーポイントのデータをそのまま提出しないで下さい。印刷用データと発表用スライドのMSパワーポイントデータの両方をコピーしていただくことは大歓迎です。

WindowsXp(DOS)または Macintoshのソフトで作成する場合

ソフトは、一太郎、MSワード、MSパワーポイントをお使い下さい。アドビイラストレーターはご遠慮願います。また文字原稿のページはMSパワーポイントをお使いにならないで下さい。

写真・図を含むページは絶対にワードは用いず、必ずパワーポイントを使用して下さい。

Windows Xpとオフィス2007までの形式で保存して下さい(最新のデータ形式には対応しません)。新発売やバージョンアップ直後のソフトを使用したデータには対応しきれない場合がありますのでご考慮をお願いします。なるべくWINDOWパソコンで作成していただくことをお願いします。(Macのデータにも対応できますが)

本文がテキストデータの場合

普通にワープロで文章を作成し、テキストデータにして、一続きの文章はなるべく改行しないで下さい。本文の小見出しがあるときは必ず改行して下さい。引用文献の番号などの上付文字を振る時は「これこれ¹⁻³⁾はあれそれ」は「これこれ■1-3)■はあれそれ」というように2つの■で囲って下さい。本文をテキストデータで提出される場合は、写真や図、表は、プリントまたは印刷してA4の紙に前ページの例に従って、貼り付けて作成して下さい。

なお、ワープロ専用機でデータを作成した場合はDOSのテキスト形式のみで受け付けます。

ファイル名の付け方

Windows (DOS) の標準フォーマット、MacintoshはDOSフォーマットで、下記のファイル名を付けてください。

ファイルネームの上1桁目 (半角アルファベットで)

特別講演 . . . T
一般演題 . . . I (テーマ演題も一般演題も同じ「I」です)
あなたならどうする . . . A
ひと目ご覧下さい . . . H
その他 . . . S

ファイルネームの上2・3桁目 (半角数字2桁で)

演題番号 . . . 演題番号が一桁の場合は、頭に0を入れてください。

ファイルネームの4桁目以降 (半角アルファベットと数字で)

本文 H
図 F 番号
表 T 番号 の順に、ファイル名を半角で付けて保存して下さい。

(例) 一般演題 16番の本文 . . . I16H, 図2 . . . I16F2, 表1 . . . I16T1

個々の画像ファイルは、(ファイル名はFig.1ならF1、Table 1ならT1などというように)本文の内容と関連のある名前にしてください。

文字化けをさけるために本文のフォントはWindowsの場合はMSP明朝かMS明朝、Macintoshの場合はOSAKAのみにしてください。強調文字(太字またはボールド体)の設定はしないで下さい。強調したい部分はゴシック体にしてください。

外字は使わないでください。癢痒の「癢」、哆開の「哆」などは外字の場合があります。

CDRやMO、フロッピーなどに直接ラベルを貼って下記項目を必ずご記入下さい。

口演者名、演題名
Windows か Macか、作成したソフト名とバージョン
保存されているファイル名

必ず印刷した原稿(写真・図・表は貼付でも可)とデータの両方を提出して下さい。
提出するディスクは、作成したパソコンとは別のパソコンで正しく表示されることを確認して下さい。

不明な点がございましたら何なりと学会事務局(ワードミキ)まで、メールまたはファクシミリでお問い合わせください。できればメールをお願いします。電話によるお問い合わせは受け付けていません。

事務局メールアドレス hifugeka@wordmiki.com 事務局ファクシミリ: 0798-49-2748
事務局長(伊藤孝明) メールアドレス . . . hifugeka@kiwi.ne.jp

日 程 表

8月20日(土) 第1日目		
7:30～8:30	評議員会	
9:00～9:05	会頭あいさつ	
9:05～10:05	血管腫・肉腫など	高橋和宏(岩手医科大学)、田口理史(深谷赤十字病院)
10:05～11:05	手術手技・再建・治療法(Ⅰ)	寺師浩人(神戸大学)、為政大幾(関西医科大学枚方病院)
休 憩(15分間)		
11:20～12:10	リンパ節生検・郭清	清原祥夫(静岡県立がんセンター)、浅越健司(岡山医療センター)
12:10～13:15	ランチョンセミナー	八田尚人(富山県立中央病院)
休 憩(15分間)		
13:30～13:50	総会	
13:50～14:50	悪性黒色腫	山崎直也(国立がん研究センター中央病院)、村田洋三(兵庫県立がんセンター)
14:50～15:35	私ならこうする	八田尚人(富山県立中央病院)
休 憩(15分間)		
15:50～16:50	エコな工夫(Ⅰ)	神谷秀喜(木沢記念病院)、小浦場祥夫(北海道大学)
16:50～17:50	BCC, SCC, Paget	中川雅裕(静岡県立がんセンター)、緒方克己(古賀総合病院)
17:50～18:30	手術手技・再建・治療法(Ⅱ)	橋本裕之(アルメイダ病院)、松下茂人(鹿児島大学)
18:30～20:00	懇親会 (ANAクラウンプラザホテル)	

8月21日(日) 第2日目		
8:30～9:30	感染症・膿皮症・炎症性疾患	荒川謙三(岡山済生会総合病院)、中川浩一(済生会富田林病院)
9:30～10:30	エコな工夫(Ⅱ)	臼田俊和(社保中京病院)、門野岳史(東京大学)
休 憩(15分間)		
10:45～11:45	手術手技・再建・治療法(Ⅲ)	長野 徹(神戸市立医療センター中央市民病院)、中村泰大(筑波大学)